



展示物



講演『This is マイ助産師』

## 9. 協働団体

一般社団法人静岡県助産師会

静岡市助産師会

おしりふじ（助産師によるおむつなし育児グループ）

## 10. その他（アンケート結果）

・心にささりました。妊娠した時、自分の働いている所では産みたくないと思った。

そして、仕方のないことだと割り切っている自分もいる。見ていて、涙が出ました。

- 感動しました。すごくよかったです。また楽しみです。
- 助産師さんの役の方のセリフが自分に話しかけてくれている気がして、涙が出てきました。自分の中で知らないうちに自分の気持ちにふたをしていたのかも気づかせてもらいました。
- 見えない声「バーストラウマ」。ユーモアもありながら、出産した人、皆がふり返りながら思いをはせる劇でとてもよかったです。
- 涙 涙 笑 でした。
- さすが関西のお母さん達！おもしろかったです。
- とてもおもしろく楽しめました。ぜひ、全国の助産学校でもやっていただけると、嬉しいです。
- バーストラウマについて、ユーモアを交えながら教えてください、ありがとうございました。バースプランが特にならない、前回のお産はそんなに覚えてない、というようなお話をされたお母さんに実習中にお会いしたのを思い出しました。言葉の裏にどんな思いがあったのか。
- それぞれ、たくさん観て欲しい方、必要としている方がまた観て気づいていけたら。シェアできた人がふえると私もうれしい。
- とても心にひびきました。全ての女性が幸せで満足のできる出産がむかえられると良いなと思いました。
- 実際に分娩に入っているときに、「大きな声出さないで！」「いきまないで！」と声をかけている助産師をたくさん見てきました。助産学生として、その場に立ち会っている私も大きな声を出すことがダメなことなんだと思い込んでいました。でも、そうではないなと劇を観て気づかされました。臨床に出て、助産師として働く前に、このような素晴らしいイベントの参加でき、本当によかったです。
- とても分かりやすく、すんなりとはいってき

ました。加えて、このような事例って残念なことにあってもおかしくない、よくあることかもしれないと感じました。産後にバースレビューし、お産をどううけとめているか、ポジティブな記憶として残るようなかわりの重要性を改めて感じました。

- バーストラウマさんがよかったです。
- いろいろ考えさせられました。
- 自分でも気づかない思いを抱えていることもある。ということ学びました。お産は、妊産婦が自分自身と向き合うことにもなると思うので、彼女らの気持ちが自由になれることが大切だと思う。
- 笑いあり、歌ありでとても印象的でした。ストーリーもわかりやすいので、産婦さんの抱えるバーストラウマの深刻さや辛さを改めて、感じました。
- 短い中にも伝えたいことがしっかりわかる内容でした。バーストラウマさん、面白かったです。

お産体験談





チラシ

平成30年度あざれあ地域協働事業

2018 11/3 土

お子様歓迎

いいお産の日

お産劇「バーストラウマ」

お産時の心の傷、  
その後の育児にどう影響する？

入場無料  
申込不要

講師プロフィール

日本妊産婦支援協議会  
りんごの木

2010年大阪・京都 兵庫の母親たちで結成。  
2012年～2013年 「お産のワークショップ」  
開催。(社)生命保険協会の助成事業  
2014年～2016年 「出産体験の模擬講座」  
「ママになつた記念集」講座(2回のお産、どう  
したい?)を開催(共催:新生教育財団1276座)  
とよなか学基金の助成事業  
2015年～現在 オリジナル脚本による  
バーストラウマ劇の上演  
2017年～ Birth for the Future(BFF)  
研究会主催による「出産ケア政策会議」に  
協力し、「マイ助産師制度」の実現に向けて  
活動するとともに、産婦人科の提供を行っている

すべての女性が母になつた日を  
人生最高の記念日として心に刻めるように

場所: 静岡市民文化会館  
2階 第1会議室  
(静岡市葵区駿府町2番90号)

時間: 10:00～13:00

定員: 60名

お問合せ: お産ラボ  
osanlabo@gmail.com

お産ラボ 検索

協働団体 一般社団法人 静岡県助産師会 静岡市助産師会 おしりふじ